

SSKP
はばたけだより
Vol. 101

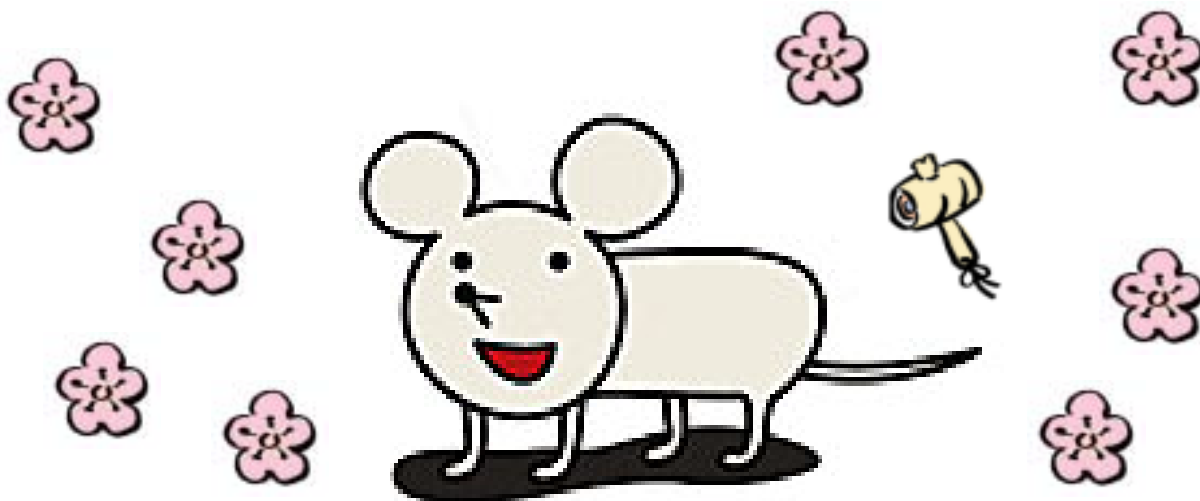
編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばたけ

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9

0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

URL <http://habatake.jp/>



謹賀新年

～明けましておめでとうございます～

はばたけ旅行～成田山・ディズニーリゾート・コース

11月28日～30日と2泊3日で旅行に行ってきました。今回ははばたけ旅行は、小湊鉄道や外房線などの路線をめぐる「電車満喫コース」とディズニーランド・ディズニーシーをまわる「ディズニーコース」の2コースをつくりました。両コースとも初日は成田山に立ち寄って、紅葉の自然に触れて参拝してきました。ディズニーコースでは、ミッキーに会えたり、夜のパレードを間近で見たりと大満足の3日間を過ごしてきました。・・・2008年もこの笑顔を大切に日々の活動に取り組んでいきたいと思います。皆さん本年もよろしくお祈りします！

あけましておめでとうございます
本年もよろしく願いいたします



知的障がい者の自立生活に必要なこと

明けましておめでとうございます。皆様どの様な新年をお過ごしでしょうか。この年も多くの皆様のお支えを得て、私たちは何とか年が越せましたことを心から感謝申し上げます。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

私たち社会福祉法人おおぞら会は、昨年度から“サポートネットあすは”の運営責任を引き受け、グループホームの拡充(さくらハイツ)を行い、知的障がい者が住みなれた街の近くで暮らし続けることが出来るよう、小さな法人ではありますが、知恵を出し合って事業展開を行っています。これを持続させるには多くの皆様によるサポートが不可欠です。何とぞ関心を持ち続けて下さり、変わらぬお力添えを賜りますよう、年の初めにあたり心からお願い申し上げます。

さて、「障害者自立支援法」の抜本的な見直しが行われようとしています。昨年の参議院議員選挙の結果を受けて、一気に各政党とも「見直し」を口にするようになりました。選挙というものの大切さをあらためて痛感させられました。最終的にどのような方向で決着するのか成り行きを見守りたいと思います。

知的障がい者の自立生活は、単身生活を前提にした身体障がい者のそれとは違って、社会的自立の側面をしっかりと支えるシステムの存在が不可欠です。それは、当事者の安全な暮らしを支えるシステム、健康な暮らしを支えるシステム、地域住民の一人として折り合いをつけた暮らしを支えるシステム、などなどが不可欠だと思います。現在存在する制度を活用するとすれば、それはグループホームの活用であり、またガイドヘルパー制度の活用などによってサポートされる暮らしだと思っております。

知的障がい者の単身生活は、心身の健康の維持や、悪徳業者から被害にあわないことや、ご近所の皆さん方と上手く折り合って生きていくことや、余暇の健康的な活用等などに一定のサポートがないと非常に厳しい現実があると言わざるを得ないと思っております。

繰り返しになりますが、知的障がい者の自立生活を促進するためには、一人暮らしを促進することよりも、グループホームとガイドヘルパー制度のいっそうの拡充が不可欠だと思っております。仮に、良い出会いがあって、結婚されて二人での暮らしが始まるとしても、やはり一定のサービス提供が不可欠ではないかと思っております。

だとすると、グループホームの経営とガイドヘルパー派遣事業が、働く人達の犠牲によるのではなく、また経営する法人等の経営を圧迫するのではない事業展開が可能な単価の設定をお願いしたいと、切に願うものです。知的障がい者の地域での自立生活に不可欠な事業が安心して経営できるように、障がい者自立支援法が見直されることを願うばかりです。

新しい年の初めに、皆様のご多幸をお祈りし、

変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます

2008年 元旦

社会福祉法人おおぞら会理事長 西原雄次郎

実習から得られたもの…

はばたけ実習生の感想

はばたけには毎年たくさんの実習生さんがやってきます。“実習生”と言っても立場はいろいろ…。全部あわせて、今年度は25名の方々がはばたけで体験し学んでいきました。

- 養護学校の現場実習 …高等部の生徒さんたちが将来の進路を考えるために、働くことを体験します。1～2週間程度はばたけに通い、作業実習をします。
- 社会福祉援助技術実習…福祉を学ぶ大学生さんが、社会福祉士の受験資格を得るために4週間程度の現場実習を行ないます。
- 介護等体験実習 …教員免許を取得するために義務付けられている実習で、5日間の現場実習を行ないます。
- 初任者研修 …養護学校の新任教諭が、2日間程度の現場実習を行ないます。

- 職場体験実習 …地域の中学生在が3日間の職業体験を行ないます。

実習生さんは、はばたけにとって新しい風。新鮮な気持ちをふと呼び起こしてくれたり、率直な意見や対応にハッとさせられることもあります。逆に学ばせてもらうことも多いのです。

初めにお話するときには必ず伝えるのは、養護学校の学生さんには「みんなと仲良くなってほしい」ということ。そして福祉を学びに来る人には「いろいろな人がいるということを実感してほしい。そして自分もその中のひとりとして、利用者の皆さんと人として向き合ってみてほしい」ということ。知識は学校で学べますので、実習では求めません。それよりも自分の気持ちの揺れや葛藤の中で、悩みながら人と向き合うことに注ぐ時間を大切にしてほしいと思っています。そこで何かを感じられたら、それが何より実りある実習だったといえるのだと思います。人によってモチベーションも感じ方も様々ですので、受け入れ側としても難しい面はありますが、それぞれの中に少しでもたくさん、はばたけが印象に残るようにとの思いでいます。

介護等体験 / 大学2年生

自分の心の中にある「障害」を持つ人への壁がいつのまにか消えていました。初日の自分に比べて、人と接することが少し上手くなったのではないかと思います。人と人が接すること、言葉がなくても伝わる気持ちがあること、表面上だけでなく心までちゃんと会話すること…人間として大切な事を再確認でき、吸収する事ができました。

社会福祉援助技術実習 / 大学4年生

“やってあげる”という感覚が嫌で、自分はそうするまいと思っていたが、やっぱり陥りそうになった。障害から入るのではなく、人として接することが大切だと感じた。自分自身が身体障害者という立場であり、その視点で見えてしまうところがあり、これから福祉を目指す時のネックになっていたが、実習をする中で利用者との向き合い、話す中で、障害種別も関係ないと思えた。

現場実習 / 養護学校3年生

はばたけのみんなに会えてよかったです。給食も残さず全部食べました。みんなとお話ができてよかったです。

職場体験 / 三鷹市立中学2年生

親しくできないんじゃないかと思った。全然違ってびっくりした。もっとお手伝いするのかと思った。普通だな…と思いました。遊びに来たいし、将来は福祉の仕事に就きたいと思いました。

☆秋だ!販売だ!ルーキーズだ!☆

そして・・・駅伝

出店の日々・秋の販売!



吉祥寺教会バザーのひとつコマです

はばたけ大バザールの後も、地域のイベントが盛りだくさん!
「みたか寄席」「ルーテル愛祭」「ひまわりバザー」をはじめ、約12イベントの販売に参加しました。今年はみたかボランティアセンター主催でJCBカードセンターで福祉事業所の製品を集めた「菓子フェス」なども開催されました。

10月に吉祥寺教会バザーに参加したミヤタさんは「販売では自分で編んだマフラーを20本出してたくさん売れました。お茶も飲めたりして楽しかった。」と言っていました。ほぼ毎週1回ペースでの販売活動、皆さんおつかれさまでした!

秋のツアー・ルーキーズ!

ルーキーズも秋はイベントの出演が続き、「にじまつり」「武蔵野あったかまつり」「ひまわりバザー」に出演しました。「武蔵野あったかまつり」は当日朝から台風接近のための暴雨でしたが、メンバーは雨にも負けずに集合し、アコースティックギターや電子ドラムで演奏しました。ドラム担当のクワイさんは「ドラムが少しずつ上達しているように思います。」ボーカルのサトウさんは「今年のルーキーズはあまりメンバー全員が集まれることが難しい環境でした。でも心の連携でなんとかあったよ。」とコメントしていました。職員の移動などで練習時間が調整しにくいこともありましたが、来年も熱いハートで演奏していきましょう!



武蔵野あったかまつりで演奏しました

第16回三鷹市民駅伝大会に参加します!

年の初めの恒例行事・となりつつある「三鷹市民駅伝大会」のシーズンがやってきました。今回ははばたけは利用者メンバー5人に職員メンバー3人を加えて2チームで参加します。今回で6年連続です!大会当日の応援よろしくお祈りします!

メンバーコメント

- ササキさん 「3区を頑張ってセト君につなぎます!」
- セトさん 「4区を走りたい。頑張ります!」
- イジマさん 「今年も完走するようにさいごまで頑張ります。」
- オオサワさん 「マラソンがんばります。応援お願いします!」



今年も意気込み充分!のメンバーです!

第16回三鷹市民駅伝大会は2008年2月10日(日)9:20スタートです!

おなかのあんこがおもいけど～♪

たいやき屋さんで修行中！
やはらさんにインタビュー

「ぼくは仕事がんばってるから、もっとお給料もらえると思う」「就職してみたいな」そんな率直な思いを持っていた やはらさん。はばただでキャリア10年のクッキー職人です。就職支援を本格的に始めたのは去年の10月。4月には三鷹市にできた『就労支援センターかけはし』に登録をして、履歴書の書き方・面接の練習から身だしなみまで、アドバイスを受けながら求人待ちました。

そんな中舞い込んできたのが『夢ある街のたいやき屋さん』西調布店のオープニングスタッフの募集でした。お菓子作りの経験がある やはらさんにとっては仕事内容も身近で自信も持て、まさにピッタリな求人。期待いっぱいに応募しました。

採用試験は面接と実習。まじめで黙々と取り組むことができる やはらさんですから、実習にこぎつければ大丈夫という自信が職員の中にはありましたが、面接が少々苦手の やはらさん...「緊張しちゃうんだよ」と不安もありました。しかしそこは『かけはし』のサポートで見事クリア ...たいやき屋さん店長の川合さんも仲間のスタッフの皆さんもていねいにサポートしてくださり、実習を終えて戻ってきた やはらさんの顔はいきいきとしていました。

現在はステップアップをしてトライアル雇用中。トライアル雇用とは、企業が採用前の人材を3ヶ月間程度の短期間で試行的に雇い、適性を見極めをした上で本採用に移行できるという制度です。マッチングが難しいケースの多い障害者雇用などには有効な制度で、企業に対し補助金もでますので、実習と違い、期間中の賃金も保障されます。

ということで、初めてもらった給料明細をうれしそうに見せにきた やはらさんを直撃してみました。



こちらはクッキー班での矢原さん。

たいやき屋さんでもこんな感じでがんばってます！

・・・どんな仕事を担当しているんですか？

「洗い物をやったり、たいやきの生地を一生懸命作っています。生地作りはたのしい。オススメは“お好みたいやき”と“アップルカスタード”。キャベツを切るのは難しいからおばさんたちが一生懸命やってるよ」

・・・大変なところはありますか？

「たいやきのあんこを練るのは、おもたくて大変です。あと、カスタードはあつためすぎるとダメになるから、気をつけてやったりしてる。注意をされる時もあるけどね。辞めたいとおもったことはないな...」

・・・はばただの10倍のお給料！もらってみてどうですか？

「うれしいね。床屋に行ったり、ワンカップのお酒を買って飲むかな」

「夢ある街のたいやき屋さん西調布店」



炊きたてあんこのおいしいたいやきです！

調布市下石原 3-31-1 / TEL 042-439-6136

お話をしてみて驚いたのは、はっきりとした話し方で即答してくれる場面が多かったこと。とても頼もしくかっこよく見えました。自信というのはこんなにも人を大きくするのか...とあらためて感じました。そんな矢原さんにエールを！そして、おいしいたいやきを食べに行ってみてくださいね！！

* おおぞら会後援会ニュース *



あけましておめでとうございます

障害者自立支援法の動向に揺れた昨年。その中においても、おおぞら会では常に利用者を見つめながら歩みを続けました。4月にはサポートネット武蔵野を引き継ぐ形で居宅支援事業所『サポートネットあすは』が始動、11月にはおおぞら会2軒目となるグループホーム『さくらハイツ』に5人の方が入居され、新しい生活をスタートさせることができました。現在、あすはには約200名のヘルパーが登録しており、またグループホームにもたくさんの地域の方々が関わっています。後援会の皆様をはじめ、多くの支えがあることをあらためて感じた1年であり、そのひとりひとりの力が事業展開の源であると実感しました。

自立支援法見直しを求める運動は年を越しての課題となっておりますが、年末には与党も重い腰をあげ検討委員会を発足させるなど、今年は大きな一歩からのスタートとなります。おおぞら会も障害のある人たちの地域生活を支えていくために展開をしていかなければなりませんし、それを応援する後援会としてもますますの結束が必要になってくると思います。今後とも、何卒皆様のご協力をお願いいたします。

おおぞら会後援会会長 吉野壽夫

後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました 2007年度分 10/11~12/14 現在

個人6名の方から、ご入会・ご更新をいただきました。

後援会経由 法人へのご寄付

個人1名の方から、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

ご寄付は大切に使用させていただきます。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人...2000円 団体...10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください

郵便口座 00160-0-39163 口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援会

* 後援会会費は引き続き「ゆうちょ銀行」の振込用紙をご使用いただけますが、可能であれば払込が扱えるATMをご利用いただくことで、払込手数料が80円となります。(窓口では120円です)

払込料金加入者負担の赤刷用紙も同様ですので、ATMによる払込にご協力ください。

* 法人へのご寄付はこちらへ * ...お手数ですが、振込みの上、その旨はばたけにご連絡下さい

西武信用金庫 三鷹支店 口座 (普) 1053005

名義 (社) おおぞら会 理事長 西原雄次郎

ご寄付をいただきました！

アクティビティセンターはばたけへ
第一生命労働組合新宿総合営業職支部 様より

今回で4回目になるご寄付で、今までにもたくさん
さんの備品を購入させていただきました。

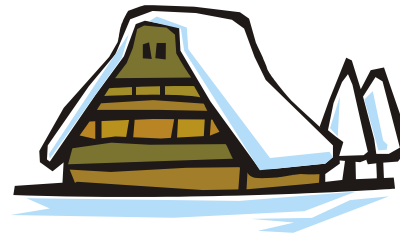
今回は壊れていた乾燥機と、新しく除湿器を
購入し、先日贈呈式を行ないました。大切に使用
させていただきます。ありがとうございました。



活動日誌 10月1日(月)～12月31日(月)まで

10月	3(水)	新任職員研修	11月	15(木)	家族懇談会
	8(月)	三鷹市スポーツフェスティバル		18(日)	ひまわりバザー 販売、ルーキーズ
	10(水)	新任職員研修		20(火)	健康個別相談
	13(土)	にじの会まつり(ルーキーズ) 自立支援法改正大集会		28(水)	旅行 ディズニーコース(30日まで)
	14(日)	けやき苑まつり		職員会議	2(金)、16(金)
	15(月)	健康個別相談	12月	7(金)	健康セミナー
	16(火)	第三者評価聞き取り調査		8(土)	みたか福祉施設お菓子フェス(JCBセンター)
	20(土)	評議員会、理事会		16(日)	三鷹市こころのバリアフリー企画
	21(日)	吉祥寺教会バザー		21(金)	きょうされん全国大会(東京ビッグサイト)
	24(水)	旅行 南房総列車コース(26日まで)		22(土)	きょうされん全国大会分科会(上智大学)
	25(木)	ハピネスセンター歯科相談		25(火)	クリスマス会
	27(土)	三鷹市社協福祉バザー 武蔵野あったかまつり(ルーキーズ)		28(金)	大掃除 (29～1/6まで冬期休暇)
	職員会議	5(金)、19(金)		職員会議	14(金)、28(金)

11月	1(木)	ており展示(食茶房むうぶ、27日まで)
	4(日)	ルーテル愛祭 リボン館クラフト展
	5(月)	さくらハイツ入居開始
	9(金)	府中養護学校文化祭 販売
	10(土)	武蔵野東学園祭 販売



来訪された方々(12月19日現在)

TKC・櫻井様 ミュージックボランティア協会様 府中養護学校様 かりいほ・石川様
健康センター・笠原様 小金井市役所様 長谷川自動車様 府中朝日養護学校様
つばさ訪問看護ステーション様 三鷹市役所様 池田様 NPO 法人アンリミテッド様
リンナイ様 タイハイ様 (株)東京ライフサービス様 三鷹市議会・川原様、粕谷様
福祉ベンチャーパートナーズ・山本様 NPO 法人メイアイヘルプユー様 なかよし教室様
第一生命労働組合様 調布養護学校様

実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

東洋大学・柳田様、能城様、高橋様 東京福祉大学・山川様
東京理科大学・佐野様、曽根様、山廣様、名嘉様
府中朝日養護学校・岡本様、浜中様、池田様、佐藤様

ボランティアの方々～いつもありがとうございます！

岡村様 及川様 鈴木様 後藤様 青木様 稲吉様

佐藤さん出演の“NHK ハート展”特集番組が再放送されます！

昨年4月にNHKで放送された、NHK ハート展の特集番組ではばたけの佐藤さんが大きく取り上げられました。
その再放送が決定！…見逃した方はもちろん、昨年見た方もぜひご覧ください！（はばたけも映ります！）

放送日 2008年1月17日(木) 20:00～ / 1月24日(木) 13:20～

information

きょうされん

第31次国会請願署名にご協力ください!



本物の出直しは応益負担をなくすことから!

2006年4月からの自立支援法の応益負担制度の実施は、施設への通所や福祉制度の支援を受けている人びとに耐え難い負担を強いてきました。また、施設等の事業報酬は従来より減額されたうえ、不安定な日額払い制に変えられたことで、施設運営は危機的な状況に追い込まれています。

今回の請願運動では、この障害者自立支援法のすぐにも変えなければならない問題点を前面に訴えていきます。矛盾がはっきりしてきた障害者自立支援法は今、その解体的出直しが多くの障害当事者・関係者の願いとなり、課題になっています。12月には与党でも抜本的な見直しを検討するプロジェクトチームがつくれ、いよいよこの問題が大きく動き出す情勢です。

このような中で取り組む第31次国会請願署名活動は、障害のある人びとの暮らしの今後を左右する大事な取り組みです。ぜひ多くの皆様のご協力をお願い致します。

* お問い合わせ・署名用紙の送付先はこちら *

アクティビティセンターはばたけ 国会請願係

〒181-0014 東京都三鷹市野崎 3-17-9

TEL 0422-32-3234

FAX 0422-32-3274

集められた募金は、署名活動への資金、全国大会の研修費用、各作業所の運営費などに有効に活用させていただきます。

しめきりは 4月末までです

[編集後記]

昨年末、ごはんを食べにいった店でステキな方々に会った。お歳でいうと70歳から80歳後半、歌が大好きでカラオケのあるそのお店に集まっているご婦人たちだ。陽気な店のご主人が指導役だが、教えるというのではなく、気持ちを引き出し解放させて、一緒に歌い楽しんでいるのがまたいい。そして皆さんの歌声は人生の深みが加わり、上手い歌手よりよっぽど心に残る。年の瀬を感じてしみじみ...お酒もすすむ。テーブルを越えてきたマイクで、いつのまにか貸しきり状態の店のご婦人たちと私たちグループの歌謡ショーと化していたが、そこにいるみんなが同じ顔で笑っているのが、なんだかとても心地よかった。振り返ると辛いことも多い1年だったが、深みのある歌声には程遠く...人生まだまだこれからかなあと思う。

さて、2008年のスタート。いろいろあるだろうけど、明るく歌っていれば、きっといいことがたくさんありそうだなあ! (いとうあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21		
企画・編集 アクティビティセンターはばたけ		
編集責任者	三浦 明雄	頒 価 50 円
編集委員長	伊東 暁子	
編集委員	ト部 禎生 深澤実希子	